



公立学校共済組合
四国中央病院

日本医療機能評価機構認定病院

しこく

ホームページアドレス <http://www.shikoku-ctr-hsp.jp/>

第48号

2012年6月

住所: 愛媛県四国中央市川之江町2233番地 TEL(0896)58-3515 FAX(0896)58-3464



今月のもくじ

- ◇巻頭言
これからの病院運営に思うこと 事務部長 梶原正光 2・3
- ◇診察室だより
整形外科 整形外科部長 寒川晃顕 4
- ◇ひろば
四国中央病院アスリートクラブ～レース参戦記～ 主任理学療法士 薦田幸一 5
- ◇地域連携だより 開放病床登録医師のご紹介 6
- ◇新任職員紹介 7
- ◇院内のできごと・お知らせ 8
- ◇表紙のことば 8
- ◇編集後記 8

病院理念
【真心・信頼・連携・思いやり】

広報誌

しこく

第48号 発行平成24年6月1日
編集 四国中央病院広報・年報委員会
e-mail s-tyouou@shikoku.ne.jp

これからの四国中央病院に思うこと －事務部長を拝命して－



四国中央病院事務部長
梶原正光

4月5月は1年の間でも日々過ごしやすい穏やかな季節で、春と言えば入学や入社をはじめとする新年度が始まるとともに人事異動の時期でもあります。そのような時期、私は平成24年4月1日付けで事務部長を拝命いたしました。

前事務部長には在任2年の間に、今までの病院運営の中でも平成22年度の元県立三島病院移譲、その後の本院を併せた両院の運営に非常に苦勞されながらも黒字収支の達成などに病院長とともに力を発揮されました。私もその後任として微力ながら、これからの四国中央病院の益々の発展に尽くしたいと考えています。

当院はここ数年、病院を取り巻く環境が激動しており、今後もまだその環境の変化が続くことが予想され、病院運営も非常に厳しくなると感じています。特に地方における診療科医師の不足や偏在の問題が非常に深刻で、病院勤務医等の確保が病院にとって大きな問題であり、最優先の課題と認識しています。その中で地域医療再生計画の達成、病院収支の改善、本院と分院の医療体制を維持していくことは容易ではない状況と言えます。そのためには、病院を取り巻く厳しい環境ではありますが、地域医療を支える医師、看護師をはじめとする職員が一丸となって、地域職域に貢献できる病院を目指すという明確な目標に向かって努力したいと考えています。

当院は、地域医療再生計画を機に院内の医療機器（CT、MRI、放射線治療装置、マンモグラフィ装置、産科・心臓・乳腺超音波診断装置、子宮内視鏡システム、脊椎内視鏡手術システム・・・）を更新・新規導入し、今後もラジオ波焼灼装置、前立腺治療システム、大動脈バルーンシステム等の機器を整備するとともに医療技術の導入を図り、施設面でも透析センターの増床、産婦人科病棟、外科病棟を増改修し、今まで以上に医療機能拡充を計画しています。

平成 23 年 11 月 1 日付けで「愛媛県がん診療連携推進病院」の認定も受け、院内がん診療支援センターも設置しました。病院施設等のハード面だけでなく、診療体制のソフト面の改善も実践しています。特にがん治療【集学的治療（化学療法・手術・放射線治療・緩和ケア）】においてはその診療に特化し、病院の大きな柱となっています。

また、当院各診療科（16 科）の機能的な連携協調により、小児周産期医療、救急医療、透析、その他専門外来（循環器、乳腺、リンパ、ストーマ、関節外来等）も拡充しながら、医師とそれらの医療をサポートする職員（医療技術、看護職員他）によるチーム医療の量的質的向上に努めています。さらには地域医療機関や行政等との連携を強化して地域中核病院の形成、地域の医療は地域で完結できる充実した医療提供体制の構築、四国中央病院、三島医療センターを含めた地域医療の再生の中で新病院建築の具体的計画も併せて推進し、地域医療の発展に寄与したいと考えています。これからもご支援ご協力の程お願いいたします。

私事ですが、ここ数年レクリエーションを続けています。

体力低下が気になる年齢になって、長く続けられるスポーツが何かないかと考えていたところ友人からバレーの誘いがあり、昔（中学頃ですので大昔かな？）少しかじったこともあったので興味本位で始めてみました。始めてみると結構ハードですが、腰痛持ちの私にとっては半年に 1 回は出ていた激腰痛がなくなり、スポーツの効用があったと実感しています。これからもケガに注意しながら（若くないのでケガをすると長引きますので）、筋力低下の防止、アンチエイジング、ストレス発散に身体が動く限り続けるつもりです。たまには大会にも出て懸命にボールを追っています。これが身体の健康維持とメンタルケアにもなっているのかなと思っています。ムリしない程度の自分にあったスポーツが何かあると良いですね。健康に気遣いながら頑張りたいと思っています。



整形外科と地域医療連携

整形外科部長

寒川 晃 顕



整形外科は、四肢・脊椎の外傷および慢性疾患に対する診療を行っています。外傷では、高齢者の大腿骨頸部骨折・脊椎圧迫骨折をはじめ労災・交通外傷や小児骨折などの救急医療を担い、慢性疾患では脊椎疾患・関節疾患・関節リウマチなどの運動審疾患に対しての診療をしています。近年、人口の高齢化に伴い、骨粗鬆症をはじめとする四肢・脊椎の慢性疾患の患者さんは増加の一途をたどっています。

平成 22 年度からは、旧県立三島病院の移譲を受けて、整形外科の入院・手術は本院に集約されました。医師は 2 名から 4 名に増員となり、地域医療連携室を通じての近隣医療機関からの紹介や、救急搬送件数が大幅に増えています。

当院は、整形外科に必要な検査機審がほぼ整備され、MRI (1.5T と 0.4T オープン型の 2 台)、64 列 CT、骨塩定量器 (DXA)、シンチグラム、筋電計、誘発電位検査装置などの検査機器を用いて、殆どの骨・関節・筋・脊髄・末梢神経の検査が可能になっています。

手術では、平成 23 年度の総手術件数が 492 件でした。その内訳は、脊椎 43 (頸椎 6、腰椎 37)、関節 86 (人工関節 32、関節鏡 37、その他 17)、外傷 265 (大腿骨頸部骨折 89、手の外傷 81、その他の外傷 95)、腫瘍 11、その他 87 でした。近年の特徴として、脊椎と外傷に対する手術の増加が挙げられます。特に、脊椎手術では、脊椎外科担当医(加地・小林)が腰椎疾患に対しての内視鏡手術 (MED)、椎弓切除術、椎弓形成術および PLF, PLIF, TLIF などの固定術を積極的に行っています。

整形外科の地域医療連携としては、大腿骨頸部骨折に対して平成 19 年度から宇摩地区大腿骨頸部骨折地域連携パス検討会が発足しています。これにより、大腿骨頸部骨折の患者さんや家族の方が希望された場合は、当院で手術を受けた後に、病態が落ち着きリハビリ主体の段階になれば、連携した近隣の医療機関で引き続いて治療を受けて戴いています。この連携システムは発足してから 6 年目になりますが、最近では多くの患者さんの利用があります。

また、三島医療センターでは、毎週月・水・金の午前に整形外科の外来診療を行っています。月(加地)、水(寒川)、金は第 1・3・5(加地)、第 2・4(寒川)が担当していますので、お気軽に受診してください。

四国中央病院アスリートクラブ

～レース参戦記～

主任理学医療士 薦 田 幸 一

広報誌「しこく」をご愛読いただきありがとうございます。ただ、「最近ちょっと内容が固い」との声もあり、今回ページをいただき「四国中央病院アスリートクラブ（以下四中 AC）」のレース参戦記をやわらかく紹介いたします。

四中 AC は昨年、西山三島医療センター長を部長に当院の選りすぐった十数名で設立しました。まず、クラブの旗揚げとして、1月9日開催の「国営讃岐まんのう公園リレー



マラソン」に参加しました。このレースは 42.195km を 4～10 名でたすきをつないでいくレースです。当日は写真のとおり、まさにランニング日和でした。他県からの参加も多く 380 チーム以上参加。もちろん、順位、タイムも大事ですが、メンバーで楽しみながら完走しようと 2 チームで競うことになりました。開会式の後、若い女性インストラクターによる準備体操があり、軽快な音楽の中、みんなハリハリで身体をほぐし、準備 OK。さあ、いよいよスタートの時間になり、みんなで円陣を組んで部長の掛け声で気合いを入れました。レースが始まると苦しい中でもいい汗をかいて、たすきをつないでいきました。総合成績は、380 チーム中 70 位 3 時間 2 分 7 秒と 81 位 3 時間 2 分 58 秒。順位、タイムともすばらしい成績を残せました。

次のレースは 2 月 5 日、『第 50 回 愛媛マラソン』に 5 名が参加しました。当日は、曇り空でしたが、風も無く、今回もマラソン日和でした。

7000 人を超えるランナーが、カラフルなウェアや仮装をしてスタート地点へ。花火と坊ちゃん列車の汽笛がスタート合図。気分はいっそう盛り上がります。テレビで応援してくれる方達に走る姿を見てもらいたいと、どこかにカメラがないか意識しながら走り出しました。

途中、給水所では、水やバナナ、パンの他、みかんや坊ちゃん団子など愛媛特産のものも置いてあり、ゲストランナーの高橋尚子さんが笑顔でハイタッチしてくれたり、沿道の声援も途切れることなく続きます。それぞれが元気をくれ、力を頂きました。

前半は、身体も軽く軽快に走ることができそうですが、30km を過ぎると足の筋肉痛とエネルギー切れで思うように身体が動きません。大幅にペースダウンし、カメラを探す余裕もなくなりました。しかし、ゴール近くは沿道の声援が一層大きくなり、最後の力を振り絞りなんとかゴール。フィニッシャータオルをかけてもらうと達成感と安堵感でなんともいえない感動を味わいました。

苦しい時は、本当に走るのが嫌になります。でも、しばらく経つとまた、走りたくなります。そして、次の大会を目指して練習を開始することになります。

次はトライアスロンに挑戦予定です。次回紹介できることを期待し、トレーニングに励みます。

～ 開放病床登録医師のご紹介【第7回】～

当院の開放病床に登録された先生方からご紹介いただいた患者さんには、ご紹介の先生と当院の医師とが共同で診療を行っており、入院前から一貫した医療をご提供しています。



いのうえレディースクリニック

登録医：井上由之助
住 所：四国中央市三島中央4丁目4-4
電話番号：0896-23-3651
診療科：婦人科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 10:00～13:00	○	○	×	○	○	○	×
午後 15:00～18:30	○	○	○	○	○	×	×



当地で開業して25年になります。7年前に分娩取扱いを諸般の事情で中止後も、妊婦検診を含め産婦人科一般の診療を行っております。

四国中央病院には、開業当初より産婦人科はもとより全科にわたって、先生方やスタッフの皆様には昼夜を問わず対応していただき、大変感謝しております。

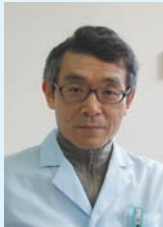
宇摩地区の地域医療については、ソフト、ハード面ともに、分散ではなく集約化が必要ではないかと考えます。四国中央病院が当地の中核病院として、益々発展されますよう祈念いたします。今後とも、何かとご迷惑をおかけいたしますがよろしくお願い申し上げます。



しんとう内科医院

登録医：井上 徹
住 所：四国中央市寒川町 2522
電話番号：0896-25-0028
診療科：内科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:00～12:00	○	○	○	○	○	○	×
午後 14:30～18:00	○	○	○	○	○	×	×



当院は内科全般の診療を診させていただいています。四国中央病院の先生方やスタッフの皆様には、病診連携や二次救急登録医として大変お世話になっています。

- 本年度の制度改定では、
- ①地域における連携の強化
 - ②在宅医療の充実
 - ③医療と介護の役割分担など新時代にむけた方向性が示されました。

当院も時代の趨勢に遅れないように鋭意努力していきたいと思っています。今後ともよろしくお願い申し上げます。

新任医師のご紹介

(平成24.4～平成24.5月採用者)

新規採用医師

井下 真利	神経科医員	4月から徳島県立中央病院から赴任してまいりました。地域の精神医療に貢献できるようにがんばりたいと思います。よろしくお願い申し上げます。
河見 貴子	産婦人科医員	4月から徳島大学病院から赴任してきました。愛媛大学出身なので、久しぶりに愛媛に戻りなつかしい気持ちです。精一杯頑張りますのでよろしくお願い申し上げます。
眞鍋 裕昭	整形外科医員	整形外科全般に積極的に取り組んでいこうと思いますので、宜しくお願いします。
三好 人正	内科医員	徳島大学病院から赴任してまいりました。半年間の短い期間ですが、早く慣れて精一杯頑張ります。よろしくお願い致します。(日本内科学会認定医)
尾崎 啓介	泌尿器科医員	スタッフ、患者様から信頼されるよう、精一杯頑張っていきたいと思っています。よろしくお願い致します。

(平成24.4～平成24.5月採用者)

岡崎智子【助産師(北館 2 階病棟)】
趣味：読書

4月から勤務することになりました。皆様からご指導いただき、仕事を覚えて働けるように頑張ります。

井上成美【看護師(北館 5 階病棟)】
趣味：読書

夢に見た、地元で働ける喜びにときめいています。臨床経験が全くない私にとって不安もたくさんありますが、諸先輩方から御指導して頂き皆様に愛される看護師になりたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。

大西めぐみ【看護師(北館 2 階病棟)】
趣味：スノーボード、ガーデニング

5月から勤務させて頂くことになりました。患者さんに寄り添った看護をモットーに精一杯がんばります。どうぞよろしくお願い致します。

福原正史【臨床工学技士】
趣味：マラソン

臨床検査技師として4年、臨床工学技士として9年、医療に携わってきました。専門は血液浄化療法と医療機器管理ですが、新しい分野にも挑戦していきたいと思っていますので、よろしくお願い致します。

井上芙美【心理療法士】
趣味：音楽鑑賞、街歩き

4月から勤務することになりました。病院勤務は初めてですが、早く慣れて皆様のお役に立てるよう頑張ります。どうぞよろしくお願い致します。

星川佳代子【心理療法士】
趣味：フラダンス、ジョギング

4月からお世話になります。早く仕事を覚えてお役に立てるよう頑張りますのでご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い致します。

石川美穂【外来補助】

趣味：子供と外で遊んだり、一緒にスポーツをすること

5月から勤務させていただく事になりました。初めて経験する職種なのですが、早く仕事を覚えて皆様のお役に立てるよう、日々努力し頑張っていきたいと思っています。分からない事だらけで、ご迷惑をかける事が多々あると思いますが、どうぞ宜しくお願い致します。

平口幸歩【看護師(北館 3 階病棟)】
趣味：ドライブ

卒業後、新しく4月から勤務させていただくことになりました。実習と臨床では視野も広がり、学びも多いと思います。学校で学んだことを生かし、常に誠実に看護をしていきたいです。先生方、スタッフのみなさま、ご指導よろしくをお願いします。

白川香里【看護師(手術室)】
趣味：体を動かす事

4月から新人看護師として勤務することになりました。一看護師、一社会人として精一杯努力します。幼少よりスポーツが大好きで、体を動かすことが大好きでした。皆様やスタッフの方々、先生方から教わりながら日々頑張っていきたいと思っています。よろしくお願い致します。

上野亜美【看護師(北館 5 階病棟)】
趣味：ショッピング、お菓子作り

高知県の近森病院で1年間働いていました。今回結婚することになりこちらでお世話になることになりました。環境もかわり、不安ですがこれから少しずつ仕事を覚えていきたいと思っています。慣れるまで、ご迷惑をおかけすると思いますがよろしくお願い致します。

川村英子【臨床工学技士】
趣味：テニス、読書

四月から勤務することになりました。臨床工学技士として患者様の力になれるように一生懸命頑張りたいと思います。

高橋智恵【放射線助手】
趣味：テニス、パッチワーク

5月から勤務させていただきます。少しでも早く仕事を覚え、笑顔が忘れず明るくがんばりたいと思います。よろしくをお願いします。

池田哲【経営企画課長】

趣味：シュノーケリング、機械いじり

4月から財務・会計を担当させていただくことになりました。九州出身・東京在住でしたので、初めて住む四国に興味津々です。当院が末永く皆様のお役に立てるよう、微力を尽くしてまいります。

蝶野李奈【看護師(北館 2 階病棟)】
趣味：音楽鑑賞

笑顔の花を咲かせ、皆様から信頼される看護師になれるよう日々努力していきたいと思っています。明るく元気に頑張りますのでよろしくお願い致します。

柴垣綾香【看護師(北館 4 階病棟)】
趣味：スポーツ

今年3月に専門学校を卒業し、4月から看護師としての第一歩を四国中央病院でふみだします。地元で地域医療に携われることを嬉しく思います。分からないことや不安もありますが、積極的に取り組み、1人1人の患者さんに向き合っていきたいと思っています。ご迷惑をおかけすることも多々あるかもしれませんが、一生懸命頑張ります。よろしくお願い致します。

松丸芳桂【看護師(外来)】
趣味：スポーツ、写真撮影

新しい環境に不安もありますが、一生懸命頑張ります。よろしくお願い致します。

白石太朗【薬剤師】
趣味：合気道

調剤薬局から転職し、こちらで4月から勤務することになりました。これまでの経験を活かし、患者さんに近い薬剤師を目指します。よろしくお願い致します。

山田裕貴【臨床検査技師】
趣味：将棋

4月から勤務することになりました。お役に立てますよう日々努力を重ねて、頑張っていきたいと思っています。よろしくお願い致します。

三宅洋美【外来補助】

趣味：ドラマ鑑賞、ラグビー観戦

6才、3才の男の子2人をもつ2児の母です。4月から小学校、幼稚園に入り、新生活をスタートさせました。私も8年ぶりの仕事にワクワクしております。初めての職種なので慣れるまでには皆様に、ご迷惑をおかけする事もあると思いますが、色々学んで頑張っていきたいと思っています。どうぞ宜しくお願い致します。

伊藤信宏【総務課保全係長】

趣味：野球、スキー

岐阜県の東海中央病院から赴任しました。1日も早く病院の雰囲気慣れ、四国の人間に成りきって、微力ですが頑張りたいと思っています。よろしくお願い致します。

院内のできごと・お知らせ (H24.3~H24.5)

3月14日 第11回市民公開講座「アロマのお話し～足の痛みとアロマ療法～」

3月22日 院内講演会「肝臓がんについて」

5月 2日 院内学習研修「透析について」

5月15日 看護の日 院内イベント開催

5月16日 第12回市民公開講座「COPDについて」



第1回 四国中央病院がんフォーラム開催のお知らせ



今回、四国中央市の皆様に、がんに対しての知識を深めていただくため、「四国中央病院がんフォーラム～地域のがん治療について～」を開催いたします。今まで「がん」に興味がなかった方も、お誘いあわせてご参加ください。(参加費無料)

■開催日 平成24年7月21日(土)

■開催時間 13:30～15:30(13:00 受付開始)

■開催場所 四国中央市福祉会館(4階多目的ホール)

■演 題

「日本のがんの現状」「胃がん」「肝臓がん」「乳がん」「前立腺癌」

■表紙のことば 一開院53周年記念写真一

新緑を迎えた5月の空の下での新入スタッフを交えた集合写真です。

四国中央病院は半世紀以上にもわたり当地域住民の方々に対する日々の診療業務と組合員の健康管理事業にたずさわり、この地域になくはならない中核病院としての役割を果たしております。このことは歴代の先達諸氏からの絶え間ない努力が現在まで受け継がれてきた賜物に他ありません。

そして今年も新しいスタッフを迎えることができました。それぞれの胸に病院の理念である「真心・信頼・連携・思いやり」を刻み、各部署で存分に若い新たな力を発揮してもらいたいものです。そしてそのためには私共も、新しいスタッフが自分達の仕事に対してやりがいを持てるような職場の環境を作っていく必要はありません。こうして初めて皆様に愛される病院の伝統が生まれ次の世代へと受け継がれていくものだと思います。

この伝統が100周年まで続きますことを切に願っております。

(文：相原)

■編集後記

4月より新たにご就任されました梶原事務部長に巻頭の言をいただきました。

医療崩壊が叫ばれてから久しくなりますが、地域においては改善されるどころか益々医療を取り巻く環境は厳しくなっております。地域職域に貢献できる病院を目指すという明確な目標を掲げられたことに対して職員一同身が引き締まる思いであります。

四国中央病院アスリートクラブが昨年発足いたしました。こちらはゴールという目標に向かって走るわけですが、いかなる事にも常に目標をもって前進することが大切だと思います。

今回の診察室便りは整形外科です。手術件数が格段に増え毎日遅くまで診療ご苦労さまです。

今年も多くの新任職員を迎えることができました。

四国中央市に地域中核病院を形成するという大きな目標に向かってみんなで頑張ってください。

(文責 相原)